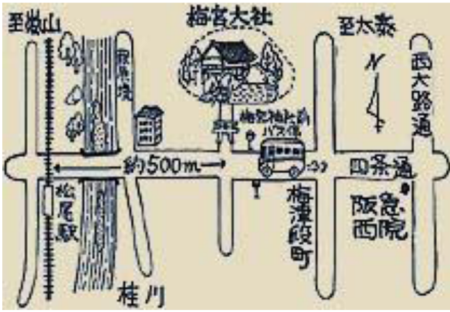


5. 梅宮大社とは

梅宮大社は、嵐山の景色の象徴となる桂川の東岸に鎮座する神社です。



1) 神社の歴史

神社の正式な創建時期は不明ですが、一説によると奈良時代には既にあったとも言われています。

1300年以上もの歴史を持つ可能性のある神社です。

元々は京都南部の山奥にありましたが、平安時代に嵯峨天皇の皇后であった橘嘉智子（たちばなのかちこ）によって現在の地に移されました。

さらには、時の朝廷から特別視された神社である二十二社の一つにも選ばれた神社です。

そんな梅宮大社を訪れる際に、ぜひ知っておきたい言葉があります。それが、「大山祇神（オオヤマツミ）」と「天甜酒（あまのたむざけ）」。

大山祇神（オオヤマツミ）はこの梅宮大社の主祭神。言わずと知れた日本の創造神・伊邪那岐命（イザナキ）と伊邪那美命（イザナミ）が、神産みの際にもうけた神様のお一人です。

「大いなる山の神＝大山祇神」という名前の通り、山や自然に係わりが深い神様で、「酒解神（さけとけのかみ）」というお酒の神様としての顔も持っています。

「山の神様」がなぜお酒の神様でもあるのか？
そんな梅宮大社を訪れる際に、そこには、なかなか面白いエピソードがあるんです。

※最後に資料添付

伊邪那岐命（イザナキ）と伊邪那美命（イザナミ）の話を詠んで下さい。

